

予 算 決 算 委 員 会 会 議 録

開会日	令和4年2月25日（金）午後1時20分
閉会日	令和4年2月25日（金）午後1時29分
場 所	長久手市役所本庁舎 2階 議場
出席委員	委員長 山田かずひこ 副委員長 なかじま和代 委 員 青山直道 石じまきよし 大島令子 岡崎つよし 加藤和男 川合保生 木村さゆり ささせ順子 さとうゆみ 田崎あきひさ 富田えいじ 野村ひろし 山田けんたろう わたなべさつ子
欠席委員	伊藤真規子
欠 員	な し
会議事件のため出席した者の職氏名	市長 吉田一平 総務部長 中西直起 次長 加藤英之 財政課長 嗟峨 剛 課長補佐 井上隆雄 <div style="text-align: right;">計5人</div>
職務のため出席した者の職氏名	議長 伊藤祐司 議会事務局長 水野敬久 議事課長 福岡弘恵 議事係長 吉田菜穂子
会議録	別紙のとおり

別紙

委員長 開会宣言

議長 あいさつ

市長 あいさつ

委員長 本委員会では、一般会計に係る議案のみ説明を受ける。まず、議案第1号令和4年度長久手市一般会計について財政課長より概要説明を求める。

財政課長 令和4年度の一般会計当初予算は、214億1,000万円で、令和3年度と比べ、10億7,000万円の増額となった。

歳入予算について、1款の市税については、117億8,689万円で、令和3年度に比べ4億9,988万6,000円、4.4パーセントの増額を見込んだ。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、大幅な減収を想定したが、想定したほどの影響は見られなかったため、大きな増加となった。7款の地方消費税交付金は、14億900万円で、令和3年度と比べ、1億4,900万円、11.8パーセントの増額を見込んだ。地方消費税交付金を初めとした県税交付金は、令和3年度決算見込額などを基に見込み、配分基礎となる国勢調査人口が、令和2年度実施の国勢調査人口に置き換わったことによる増収を見込み、前年度を上回る増加となっている。18款の繰入金は、財政調整基金を中心として11億5,734万8,000円を計上し、令和3年度と比べ1億8,508万5,000円、13.8パーセントの減額を見込んだ。

歳出について、義務的経費である人件費、扶助費、公債費が、いずれも令和3年度と比べ増加しており、特に、扶助費と公債費が大きく増加している。扶助費は、障がい者の自立に向けた就労等の訓練費や障がいのある児童の通所サービスなどの児童発達支援費が大幅に増加したほか、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた生活困窮世帯に対する支援金を計上したため、前年度を上回る予算額を見込んだ。公債費は、北小学校校舎増築事業を初め、平成30年度及び令和元年度の借入に伴う地方債の償還が開始されるため、前年度を上回る予算額を見込んだ。また、物件費についても、令和3年度と比べ、5億695万6,000円、13.3パーセントと大きく増加している。これは、新型コロナワクチン接種を初めとした予防接種事業費について、令和3年度は当初予算には計上せず、補正予算対応とし

ていたが、令和4年度予算では当初予算から計上したことによる増加のほか、令和3年度途中から新契約となった給食調理業務委託費の支払が通年になること等のため、昨年度を上回る予算額を見込んだ。

委員長 次は、議案第9号令和3年度長久手市一般会計補正予算(第12号)について財政課より概要説明を求める。

財政課長 今回の補正額は、歳入歳出とも8億6,016万7,000円の増額である。歳入では市債、市税、財産収入等の増額及び繰入金、諸収入、県支出金等の減額、歳出では教育費及び総務費の増額、並びに衛生費、民生費、土木費等の減額である。また、番号制度対応システム改修等委託をはじめ11事業で9億1,892万4,000円を令和4年度に繰り越して使用し、既定の尾張土地開発公社の債務に対する保証(下川原下山1号線整備事業)及び下川原下山1号線整備事業(尾張土地開発公社が長久手市の委託により取得した用地の買収事業)において債務負担行為を廃止する。なお西小学校施設バリアフリー化事業をはじめ3事業の地方債を追加し、既定の橋梁長寿命化等修繕事業をはじめ3事業の地方債を変更する。

委員長 本委員会に付託された議案14件は所管の分科会へ送付することとしてよいか。

<異議なし>

委員長 閉会宣言

午後1時29分終了

以上、要点筆記は会議内容と相違ないので署名する。

令和4年2月25日

予算決算委員会委員長 山田かずひこ